

「ラブアース・クリーンアップ2018」海岸清掃活動への参加報告 LOVE EARTH CLEAN UP 2018



6月10日(日)、「ラブアース・クリーンアップ2018」海岸清掃活動に参加しましたので報告します。

ラブアース・クリーンアップとは、1992年5月に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議 イ 九州」を契機に、「地球環境と地域行動」の実践として、市民、企業、行政が協力し、福岡市から始まった地域環境美化活動です。九州・沖縄・山口各県にとどまらず、遠くは石川県や北海道、更には韓国釜山広域市にまで行動の輪が広がっており、昨年は福岡市内で約4万4千人、九州全体で約30万人の方々に参加されています。

住友二水会(福岡在住の住友連系50社がメンバー、当社は会長会社)も社会貢献活動の一環として2004年から本行事に参加しており、環境に対する意識の高さを反映して毎年多数の方にご参加いただいています。15年目となる今年の参加者は、40社から594名となりました。ご家族での参加も多く、当社からは家族を含めた48名が参加しました。

住友二水会の清掃場所である「国営 海の中道海浜公園」の海岸とクロマツの織りなす風景は、日本の白砂青松100選に選ばれています。前日迄、台風の影響による雨天予報で開催が危ぶまれましたが、当日はまずまずの天気での活動は開催となり、玄海灘のさわやかな潮風の中、子供連れや仲間と熱心に清掃する姿が、海岸のあちこちで見受けられました。

例年通り、自然界では分解できないペットボトルや発泡スチロール、プラスチック片、船からの漂着物などのゴミが多数あり、約1時間の清掃時間にもかかわらず、ゴミ回収袋558袋分を回収。人の手による処理を必要とする、ゴミ対策の重要性や、環境保全活動の意義を感じる一日となりました。

当社は引き続き、CSR活動の一環として本活動に積極的に参加していきたいと思えます。

